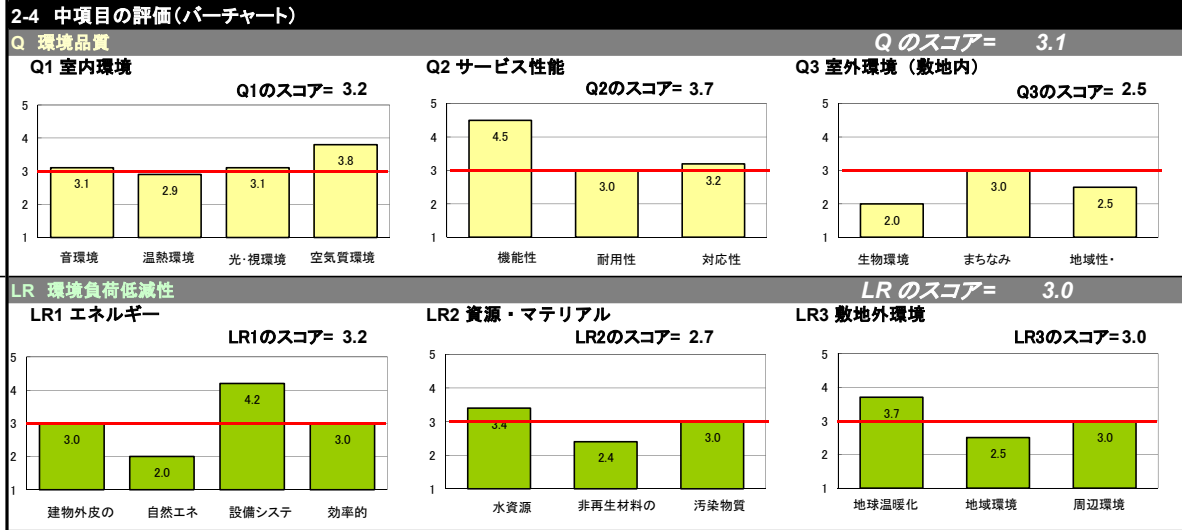
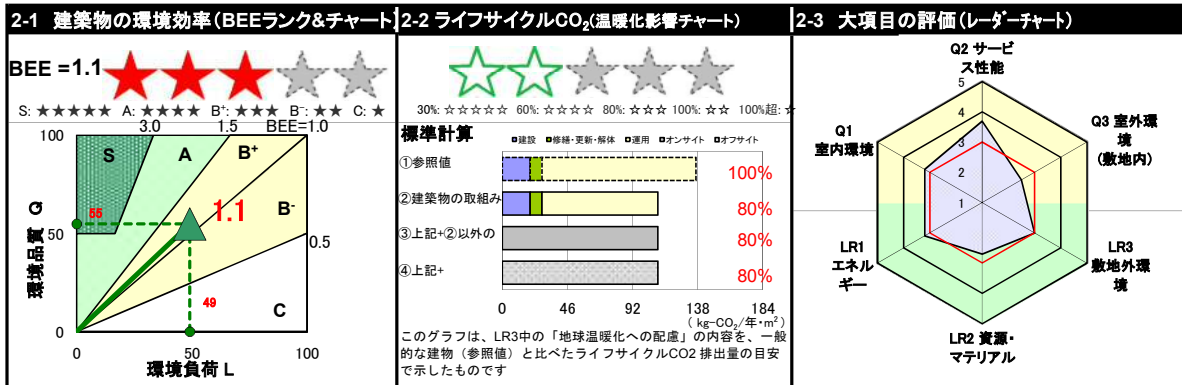


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	バンペール赤池ラ・コリーヌ	階数	地上9F
建設地	愛知県 日進赤池箕ノ手土地区画整	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	121 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年6月15日
敷地面積	1,094 m <sup>2</sup>	作成者	三輪
建築面積	368 m <sup>2</sup>	確認日	2017年6月15日
延床面積	2,423 m <sup>2</sup>	確認者	三輪



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">13.1 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.6</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数		
		<b>Q 建築物の環境品質</b>													
<b>Q1 室内環境</b>															<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>															
1.1 室内騒音レベル															0.40
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															3.0
2 界壁遮音性能															3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															3.0
1.3 吸音															
2 温熱環境															2.9
2.1 室温制御															
1 室温															3.0
2 外皮性能															3.0
3 ソーン別制御性															3.0
2.2 湿度制御															1.0
2.3 空調方式															3.0
3 光・視環境															3.1
3.1 昼光利用															
1 昼光率															3.0
2 方位別開口															3.0
3 昼光利用設備															3.0
3.2 グレア対策															1.0
1 昼光制御															3.0
3.3 照度															1.0
3.4 照明制御															3.0
4 空気質環境															3.8
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質															3.0
4.2 換気															
1 換気量															3.0
2 自然換気性能															3.0
3 取り入れ外気への配慮															3.0
4.3 運用管理															
1 CO <sub>2</sub> の監視															-
2 喫煙の制御															-
<b>Q2 サービス性能</b>															<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>															<b>4.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性															1.0
2 高度情報通信設備対応															5.0
3 バリアフリー計画															5.0
1.2 心理性・快適性															4.0
1 広さ感・景観 (天井高)															4.0
2 リフレッシュスペース															4.0
3 内装計画															5.0
1.3 維持管理															3.5
1 維持管理に配慮した設計															3.0
2 維持管理用機能の確保															4.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>															<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振															
1 耐震性(建物のこわれにくさ)															3.0
2 免震・制震・制振性能															3.0
2.2 部品・部材の耐用年数															3.1
1 躯体材料の耐用年数															3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															5.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔															3.0
2.4 信頼性															3.2
1 空調・換気設備															3.0
2 給排水・衛生設備															4.0
3 電気設備															3.0
4 機械・配管支持方法															3.0
5 通信・情報設備															3.0



重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.6</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:13.1%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 バンベール赤池ラ・コリーヌ

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>四季折々の彩りに囲まれた緑豊かな住空間</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>快適な住空間となるよう配慮</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>高効率設備機器の採用</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>境界際を積極的に緑化。近隣・街並みにも配慮</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>省エネを考慮した設備機器を設置し、一次エネルギー消費量を抑えるよう配慮</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>住戸便器に省水型機器を採用</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>駐輪場を住戸数比200%確保</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>